



特 徴

鹿児島県で唯一、血液学と膠原病内科を同時に研修できる施設です。血液学会指導医数、リウマチ指導医数ともに鹿児島県最多です。2014年現在、自家・同種造血幹細胞移植を年間20症例以上行っております。また緩和医療センターとも密な連携のもと緩和医療についても研修できます。

研修参加条件

卒後臨床研修修了者

研修施設

鹿児島大学病院、鹿児島医療センター、今村病院、鹿児島赤十字病院、鹿児島市立病院

研修期間

日本内科学会認定医（卒後5年目以降）、総合内科専門医（卒後8年目以降）、日本血液学会専門医（卒後7年目以降）、日本造血細胞移植学会認定医（卒後7年目以降）、日本リウマチ学会専門医（卒後8年目以降）、がん治療認定医（卒後5年目以降）、がん薬物療法専門医（卒後7年目以降（がんプロ大学院生の場合）、通常は8年目以降）、学位取得は卒後7年目以降

研修プログラム

卒後3年目

鹿児島大学病院での血液・膠原病内科研修。

大学院希望者は入学可能です。

卒後4-6年目

関連病院での血液・膠原病内科研修

内科認定医・血液専門医・リウマチ専門医の取得に必要な研修を行います。

卒後6-7年目以降

鹿児島大学病院での血液・膠原病内科 指導

大学院入学（卒後3年目からの大学院コースも可能です）

国内臨床研修

卒後7-8年目以降

鹿児島大学病院、関連病院での指導医、国内国外留学

現在研修中の医師数

	大学内(うち大学院生の数)		大学外
卒後3年目	1	()	0
卒後4年目	1	()	0
卒後5年目	0	()	1

プログラムの募集人員及び選考

【募集人員】 5名程度

研修と大学院の関係

卒後3年目以降は随時大学院入学可能。大学院在学中に学外施設での研修や国内外の留学等で大学院の休学を要することもあります。

処 遇

医 員

研修終了後の進路

大学病院での専門研修の継続、関連施設での病院勤務、国内外への留学、開業・関連施設へ就職、大学（大学院）での研究継続、大学教官としての勤務。

指導医・専門医

日本内科学会認定医（16名）、総合内科専門医（3名）、日本血液学会専門医（10名）・指導医（4名）、日本造血細胞移植学会認定医（2名）、日本リウマチ学会専門医（4名）指導医（2名）、がん治療認定医（2名）、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医（1名）、臨床遺伝専門医（1名）

プログラムに関する問い合わせ窓口

鹿児島大学医学部 血液膠原病内科医局

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

TEL 099-275-5934

FAX 099-275-5947

E-mail hirosk@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp（医局長）

